

一般技術者・研究者、大学院学生が、成果発表・相互交流する、学術研究学会。

Y. Ueno, 2009/08/06

学術学会(Academic societies、非営利団体)を、発足・運営・推進する目的は、
技術者・研究者・専門家、大学院学生が、互いに会合し、成果発表し、互いに交流し、刺激し合うこと。

Institute of Electrical and Electronic Engineers (IEEE) → 電気・電子・光に関するあらゆる科学技術、産業、国際規格化

設立年： 1963年に、AIEEとIREが合併して発足した結果、おそらく世界最大の、個人会員制学術研究学会。
登録会員数： **380,000人** (学生会員は 80,000人)。 ← アメリカらしく、分野を広げに広げて、規模を拡大した結果だろう。
Society数 約40。 IEEE-LEOS (2009年度から、IEEE Photonics Society)は、この中の1つ。
事務局所在地： Piscataway, New Jersey, USA.
出典： IEEE quick facts: <http://www.ieee.org/web/aboutus/home/index.html>

Optical Society of America (OSA)

→ 光に関するあらゆる科学、技術、産業

設立年： 1916年
登録会員数 **14,000人**
事務局所在地： Massachusetts Avenue, NW, Washington, D.C., USA
出典： OSA International Services: <http://www.osa.org/aboutosa/internationalservices/default.aspx>

応用物理学会, Japan Society of Applied Physics (JSAP)

→ 材料・デバイス・システムの応用物理的な科学、技術、産業
(電子材料、電子デバイス、光材料、光デバイス、光電子システムなど)

設立年： (1930年代の準備段階を経て) 1946年。
登録会員数 **25,000人**
事務局所在地： 千代田区 九段北
出典： 応用物理学会の沿革: <http://www.jsap.or.jp/profile/activity.html>

電子情報通信学会 (IEICE)

→ 材料・デバイス ~ 情報通信システム・産業 ~ コンピュータ~情報理論

設立年： 1917年。当時の学会名称(電信電話学会)。その後、改称を繰り返した。
登録会員数 **36,000人**
事務局所在地： 港区 芝公園(機械振興会館内)
出典： 電子情報通信学会の沿革と概要: <http://www.ieice.org/jpn/about/gaiyou.html>